



# 技術の向上とともに、人としての成長を求めていく

「何かに夢中になることが、成長させてくれる」



写真：時事通信提供

東京2020オリンピックの空手道形で金メダルを獲得した喜友名選手。地元の沖縄は空手とのつながりが深く、とても盛ん。そのカッコよさに憧れた喜友名選手は、「自分も習いたい」と両親にお願いして5歳から空手道場に通い始め、それ以来夢中に取り組んできました。「形は相手と戦うことを想定したもので、二つひとつの技に意味があり、それを理解しながら稽古することで上達できます。やればやるほど新しい発見があり、これで完成といったことはありません。だからこそ追求する面白さがあります」と、その魅力を語ってくれました。さらに、空手を通して物事に集中する力がついたことも教えてくれました。「僕は空手を夢中にやることで多くのことを学びました。皆さんも何か夢中になれるものを見つけてほしい。それを継続すれば、自分自身の成長に大きな力になります」。

## 「礼儀は、思いやりや感謝の気持ちの表れ」

武道である空手では、礼儀が重んじられます。それは、空手の目的が身体を鍛えることや技術を向上させることのみならず、人格形成にあるからです。礼儀とは、思いやりや感謝の気持ちを持つ謙虚な心構えに通じるものなのです。もちろん海外



東京2020オリンピックで優勝した直後に礼をする喜友名選手

の選手も同様に、礼儀をとても大切にしています。そんな背景がある中で、戦う相手であってもお互いの成長につながるように、空手について意見交換したり、教え合ったりすることもあるそうです。喜友名選手がオリンピックで優勝を決めた後、試合場の中央に正座して礼をし、立ち上がって四方にも頭を下げた姿は、とても印象的で話題になりました。「自分一人ではこの舞台に立つことはできなかった。今はすべてに感謝しています」と試合後に語っていましたが、その想いが行動となって現れたのかもしれない。



「フェアプレイ宣言」しました!!

# エール交換から生まれた絆

## 川崎フロンターレサポーター ベガルタ仙台サポーター



2011.3.11 東日本大震災発生

その影響を受け サッカーJリーグは中断した



4・23 Jリーグ再開

震災で大きな被害を受けた宮城県、「ベガルタ仙台」は川崎市で「川崎フロンターレ」と試合を行った



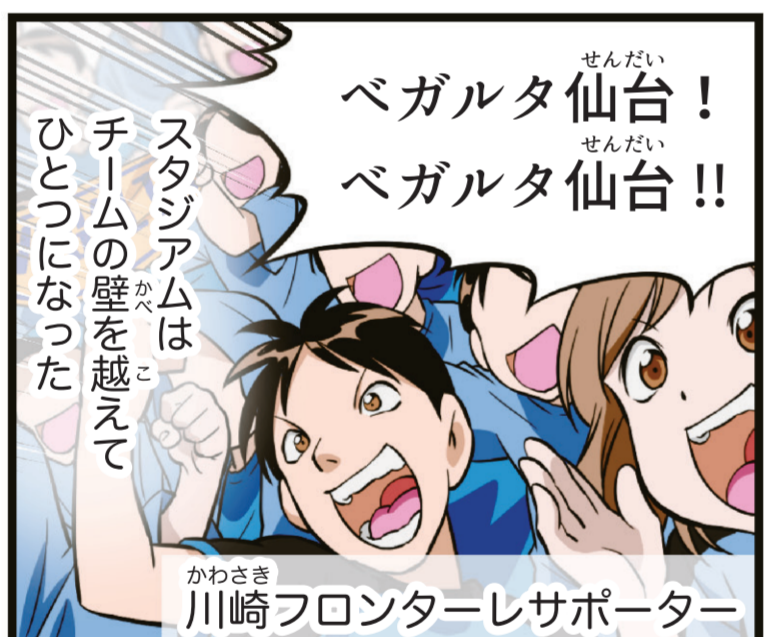
川崎フロンターレ! 川崎フロンターレ!!

ベガルタ仙台サポーター



Goいくぞ仙台~ 俺たちと共に ReadyGo~

ベガルタの歌を共に歌った



ベガルタ仙台! ベガルタ仙台!!

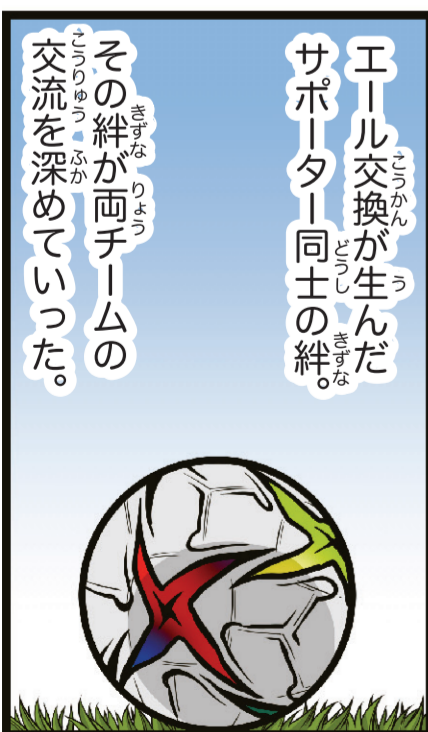
スタジアムは チームの壁を越えて ひとつになった

川崎フロンターレサポーター



しかし スタジアムには... フロンターレを応援する横断幕が掲げられていた

そこには ベガルタサポーターからフロンターレサポーターへ感謝と思いやりの気持ちが込められていた



エール交換が生んだ サポーター同士の絆。

その絆が両チームの交流を深めていった。

問題 サッカーはフットボールとも呼ばれていますが、次の国でフットボールと呼んでいるのは、どこでしょう。

- A アメリカ
- B イギリス
- C ブラジル



【答え B と C】実は、世界では多くの国が「フットボール」と呼んでいて、日本のように「サッカー」と呼んでいる国は、アメリカ、カナダ、オーストラリア、ニュージーランドなど少数派です。